

Essential

2025 Summer

個性を磨き KIBOU の 未来をその手に！

IPO 監査のトップランナーと一緒に目指しませんか？

法人概要

法人名 ESネクスト有限責任監査法人

英文名 ES Next LLC

理事長 鈴木 真一郎

設立 2020年7月1日

所在地 〒100-0004

東京都千代田区大手町二丁目1番1号
大成大手町ビル9F

人員数 理事パートナー：9名

パートナー：26名

公認会計士：29名

公認会計士試験合格者：101名

その他：41名

合計206名 (2025年6月1日現在)



リクルート公式LINEアカウント

メッセージはいつでも受け付けております。
お気軽にご連絡ください！

【ESネクスト WEBサイト】



コーポレートサイト



リクルートサイト

【X】



公式リクルート X

【公認会計士YouTubeくろいちゃんねる】



【修了考査全員合格】ESネクスト有限責任監査法人で
新人が圧倒的な成長をする理由



新人女性公認会計士(合格者)と巡る!
ESネクスト新オフィスツアー!



Message

【ESネクスト理事長メッセージ】

次世代『Next』の経営者『Entrepreneur』をサポート『Support』する



理事長 パートナー

鈴木 真一郎

Shinichiro suzuki

『真剣に、そして本気で、日本の未来を支える』

監査法人は資本市場のインフラと言われますが、近年、監査法人における監査の工数増加や働き方改革に伴う人手不足から、成長企業を含む新規の監査契約の締結が敬遠され、特に、日本の次世代を担う成長企業が監査契約を締結できないことが、成長企業がIPOを実現する上でのボトルネックとなっていました。ESネクストは、この社会問題を解決するために設立した監査法人です。真剣に、そして、本気で、日本の未来を支えます。

私達は、次世代『Next』の経営者『Entrepreneur』をサポート『Support』するとの法人ミッションを名前に冠した、完全にミッションドリブンの監査法人です。IPOそしてIPO後の新興企業の社会インフラとなることを目指しています。

『個人個人が情熱を持ち、前向きに成長する組織へ』

当法人のクライアントの経営者(CEO)の年齢は、20代を含む30代までの合計で50%を超え、40代を含めると約85%となります。そして、当法人のクライアントのビジネスは、フィンテックをはじめ物流、不動産、建設、教育等の既存事業×テクノロジー、フェムテック、メディカル、ヘルスケア、デジタルマーティング、メディア、DXコンサル、動画AR・VR、AI・IOT、HRテック、カーボンニュートラル、Web3.0、宇宙ビジネス等の新しいビジネスやテクノロジーが中心になります。若い経営者・経営陣がリードする成長著しい新ビジネス等に対峙する構成員は、情熱を持ち、前向きで監査人としてのより早い成長を目指しています。パートナーを中心に、早い成長を希求する構成員全員に対して、情熱をもって指導する組織文化を醸成しています。



日本ベンチャーキャピタル協会より、スタートアップ業界への貢献が評価されました。



受験生に一言!

『過去にないスピードで成長をスタートした監査法人のスタートアップで、日本の未来を支えるスタートアップを支援し、類を見ないスピードで成長する会計士になろう。』

2020年7月に社会問題解決に強い意識と行動力を持つ7名のパートナーを含めた9名によって設立した当法人は、ミッションに賛同する多くのメンバーが集まり、2025年7月には創立5周年を迎え、35名のパートナーと、200名を超える職員で構成される組織となりました。



ESネクストってどんな法人?



Point. 01



「IPO監査難民」という
社会課題解決を目的として
誕生しました!

詳しくは
P1~2へ!

ESネクストは2020年7月に設立されたIPO監査をメインとする監査法人です!
様々なバックグラウンドを持つ経験豊富なパートナーが多数集結しています!



Point. 02

IPO監査にはこんな魅力があります!

詳しくは
P7~8へ!



IPO監査では、日本の未来を担う企業
に、監査という側面から関与することができ
、クライアントが上場した時の達成
感は計り知れないものがあります!
また、最先端の事業を営む企業に触
れることができるのも魅力の1つです!



若手社員とオフィスツアーにLet's Go!

Point. 03



次世代(Next)の
経営者(Entrepreneur)を
Supportします!

詳しくは
P5~6へ!

ESネクストは『次世代を担う経営者とともに、社会のイノベーションをリードする』
というビジョンを掲げています!
新進気鋭の企業、ひいては日本経済の未来を、監査という側面から支えていきます!

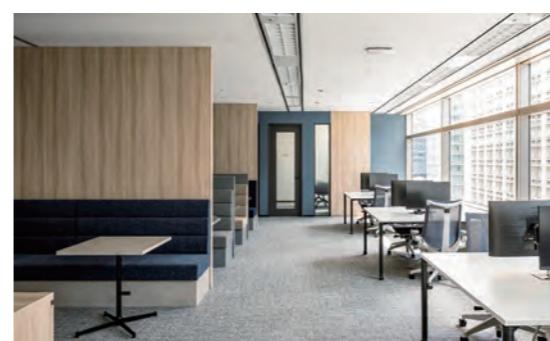


Point. 04

ESネクストには
成長できる環境があります!

詳しくは
P11~18
P27~28
etc.

ESネクストはパートナーや先輩スタッフとの距
離が非常に近く、気軽にコミュニケーションをと
ることができます!
また、1年目から幅広い業務に触れることがで
きるのも大きな魅力です!



1 スタートアップとは？

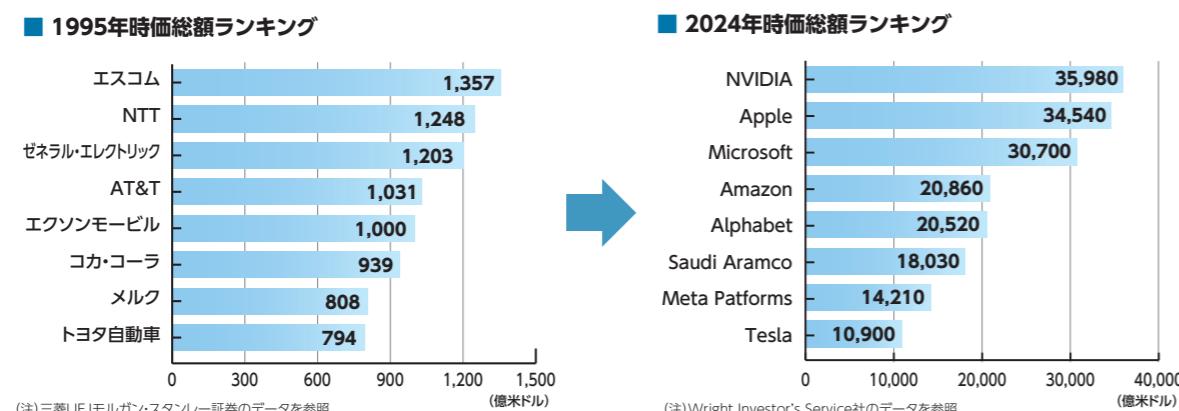
スタートアップとは、革新的なアイデアや技術を強みに、社会にイノベーションを生み出し、急成長する新しい企業のことです。

ESネクストのクライアントのほとんどは次世代を担うスタートアップです。

2 スタートアップは経済発展の要！

全世界の株式時価総額ランキングを見ると、1995年のランキングには伝統的な製造業が並ぶ一方で、2024年のランキングにはシリコンバレー発スタートアップとしてイノベーションを生み出してきた企業が並んでいます。

スタートアップは社会経済の発展に大きく寄与しています。



3 国内スタートアップの資金調達額はますます増加！

ベンチャーキャピタルやコーポレート・ベンチャーキャピタルを中心とする投資機関からのリスクマネー供給拡大に伴い、国内スタートアップの資金調達額は2013年から2022年にかけて10倍の規模に増加しています。

経済産業省は、2027年度におけるスタートアップへの投資額について10兆円規模を目指しており、スタートアップへの投資額はますます増加する見込みです。



4 スタートアップの成長における IPO とは？

スタートアップが社会に大きな影響を与える企業となり、イノベーションを生み出すためには、多大な経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報)が必要となります。

IPOは市場から多額のカネを調達することを可能とします。またIPOにより得られる上場企業としての信用力はヒト・モノ・情報を集めるにあたりとても重要となります。

以上の理由から、IPOは社会に大きな影響を与える企業となるためには必要不可欠であると言えるでしょう。

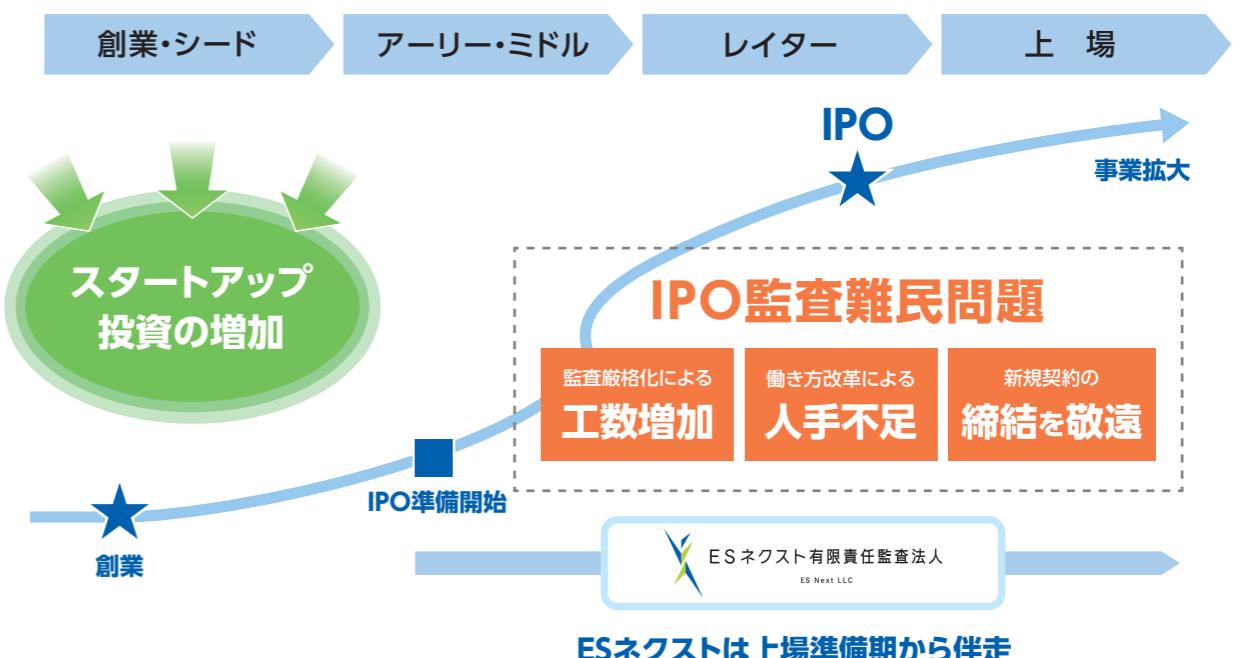
5 IPO監査難民問題とは？

IPOにあたり必要とされる監査契約を締結できない監査難民が増加している問題のことです。

IPOを目指す企業が増加している一方で、監査の扱い手を見つけられない企業が増加しています。

この問題は、監査業界における監査の厳格化に伴う工数増加や働き方改革による人手不足といった問題のために、新規契約の締結が敬遠されることに起因しています。

ESネクストはこの社会課題を解決するために誕生したミッションドリブンな監査法人であり、現在多くのスタートアップと監査契約を結んでいます！



スタートアップ業界は追い風

経済におけるスタートアップの重要性が高まる中、2022年に政府は「スタートアップ育成5か年計画」を策定しました。将来的にユニコーン企業100社、スタートアップ10万社創出することを目標に、様々な支援政策が実行されています。日本におけるスタートアップ業界はさらに拡大することが見込まれています。

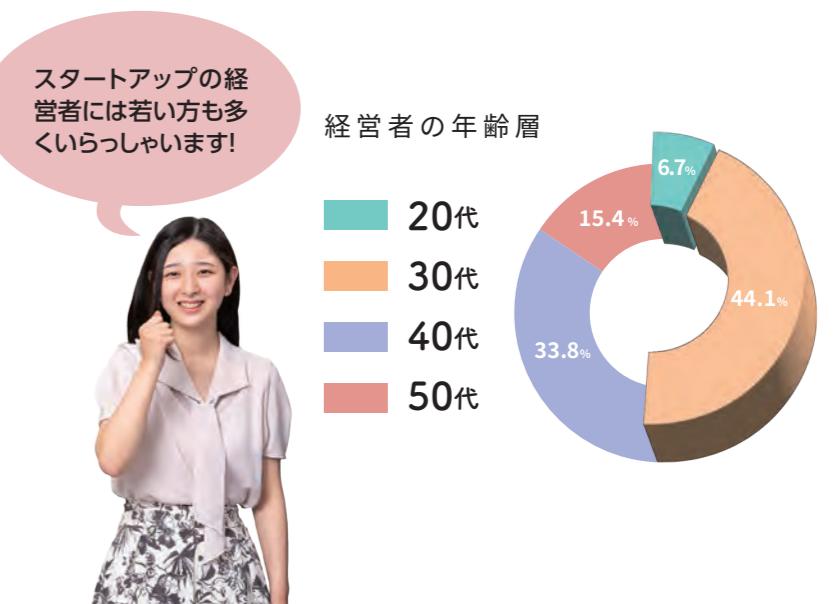
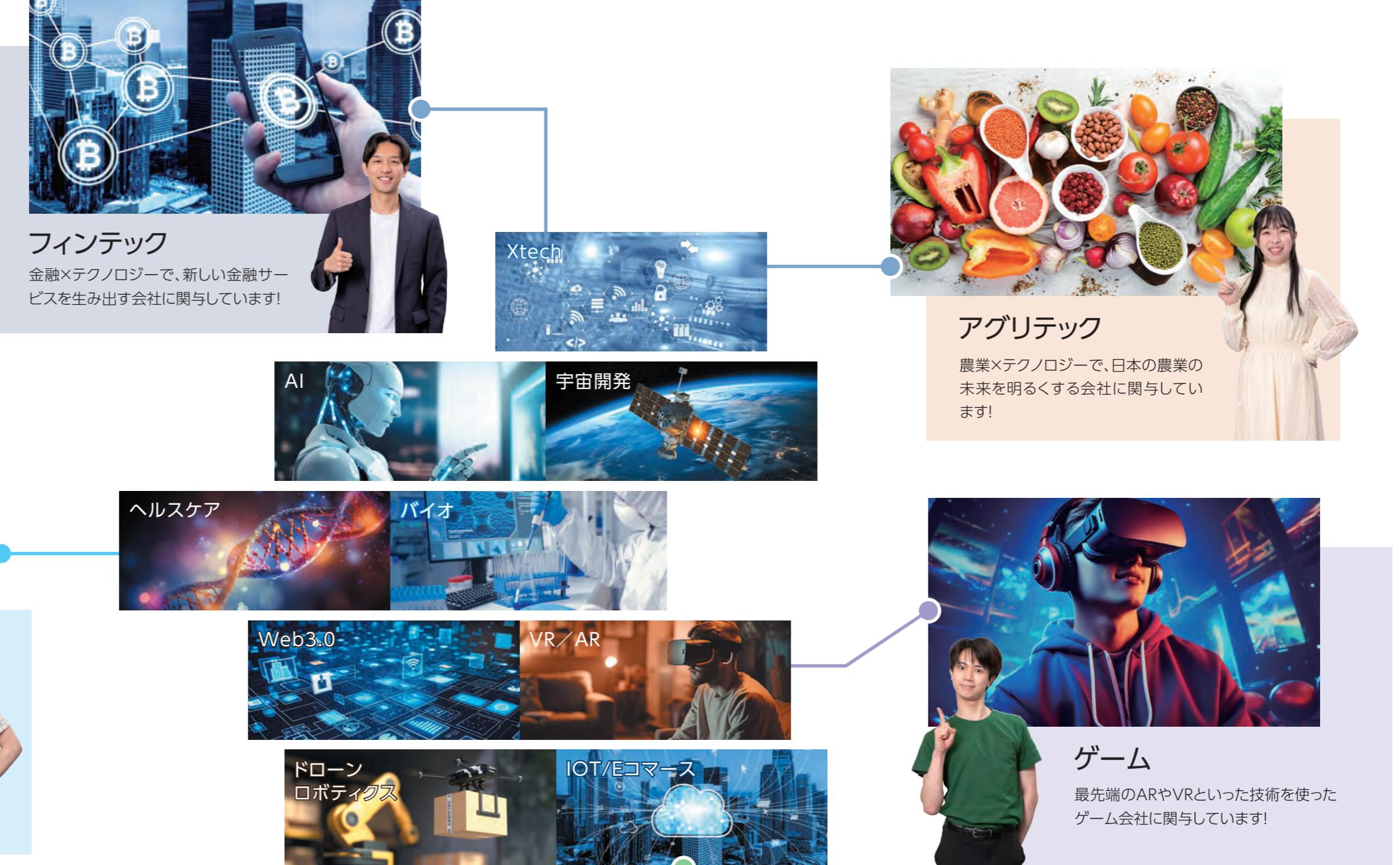
2023スタートアップ支援
関連補正予算

約1.2兆円

Business Model

【 クライアントの主なビジネスモデル 】

成長ステージにある
様々な業種のクライアントや
業界の最先端を走るクライアントに
関与することができる!!



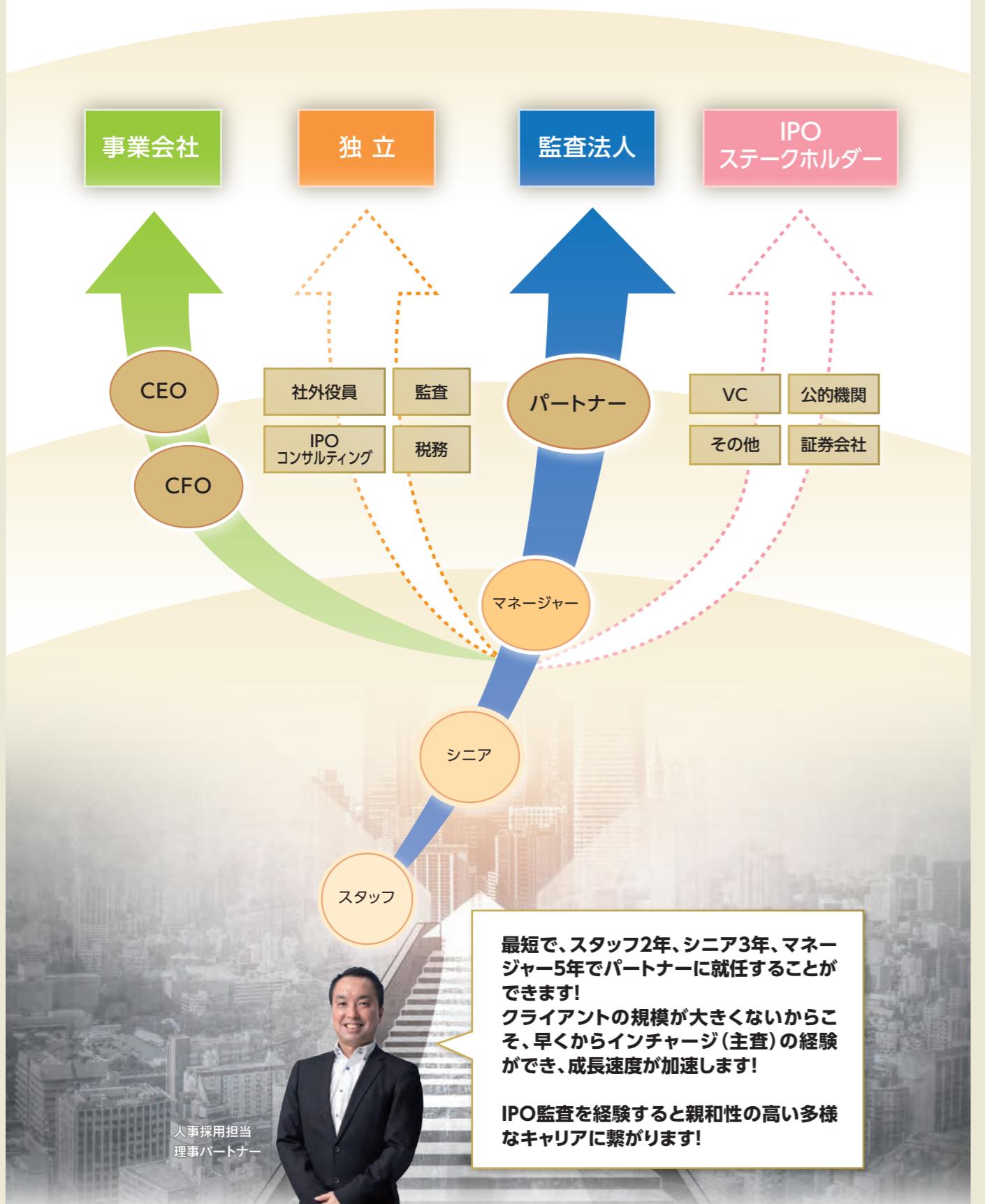
History

【 ESネクストの歴史 】



IPO Career Map

【 IPOキャリアマップ 】



ESネクストには、様々なキャリアを経験したパートナーが多数在籍しています!
興味のあるキャリアの話を、実際に経験してきたパートナーに気軽に聞くことができます!

CFO

監査法人卒業後、上場企業の取締役CFOとして、事業会社の経営管理部門を管掌しました。

CFOは、会社経営をヒト・モノ・カネ・情報全ての目線から俯瞰しコントロールできる、大きな権限と責任を有するポジションであるため、とてもやりがいがあります!



スタートアップであれば、若くてもCFOに就任する機会があります!

独立・社外役員

監査法人卒業後、独立会計士として、社外役員・ファウンダー・コンサルの立場から多数のスタートアップの経営支援を行いました。



スタートアップの規模だからこそ、若いうちから経営者の相談相手として会社の意思決定に関与することができ、感謝されること、会社の成長を体感できることが大きなやりがいです!

組織のone of themではなく、only oneとして個人にフォーカスされることも大きいです!

コンサル

監査法人卒業後、コンサルティングファームに転職し、多数の企業のIPO実現にコンサルとして関与しました。



IPOを目指す企業の経営者は非常にエネルギーが凄い魅力的な方が多いです。そのような経営者と同じ目線で、自分のやっていることが感謝される、エネルギーをもらえることが大きなやりがいにつながります!

頑張れば
頑張るほど
喜ばれます!



パートナー

監査法人在籍中、2人の子供の出産・育児を経験しています。

監査法人在籍中に産休や育休を経て、一度独立開業しました。その後、監査法人という組織に戻ろうと思ったのは、ESネクストのミッションへの共感と、子育てと両立していく不安や大変さより、仕事をすることの達成感や、社会に必要とされているという実感が大きかったからです!

ESネクストではクライアントの決算期があまり重ならないので、両立しやすいです!

金融庁

監査法人在籍中、金融庁
公認会計士・監査審査会
(CPAAOB)に2年間出向しました。



若く成長余地のあるESネクストで、CPAAOBの経験を役立てたいと思い、全社視点で監査品質を高めていきます!

Interview

【パートナー対談①】

多様なキャリアとIPO監査

～社外役員、CFO、コンサル経験者から見た会計士キャリアの可能性～

Q. それぞれの道に進んだきっかけは何ですか?

藤岡：〇〇監査法人の藤岡ではなく、会計士の藤岡として成果を残したいと思っていました。いきなりは難しいので、監査法人でしばらく修行をして、その中で知識や経験、人的ネットワークを積み重ねながら、やりたいことが実現できると思ったタイミングで独立を決意しました。

鯛：大学卒業後、会計士として大手監査法人でキャリアをスタートし、監査業務を10年ほどやりました。そのような中、知人より連絡があり、その知人のいる会社の取締役CFOにならなかいかと言われたことがきっかけです。私は実家が自営業で、昔から経営というものを感じていたこともあり、事業会社で、かつ裁量権ある立場でチャレンジしたい気持ちが大きくなり、転職を決断しました。

梅津：コンサルに進もうとしていた当時は、CFOになりたいと思っていたましたが、大手監査法人での5年半の大企業中心の監査経験のみでは、CFOとして活躍していく自信・イメージが全く浮かばず、、足りない知識・経験を補うために武者修行する気持ちでコンサルへの転職を決めました。会社として勢いのある成長企業に関われる点に魅力を感じ、IPOコンサルを選択しました。

Q. それぞれの職種で求められる資質・能力はどのようなものですか?

鯛：CFOといっても様々なスタイルの方々がいらっしゃるので一概には言えませんが、私は会社の状況変化に応じて柔軟に対応できる能力を備えておくことが特に重要ではないかと考えています。内外の環境は変化し続けるため、例えば、今日正

解だと考えて起こしたアクションが、1ヵ月後には正解ではなくなっている可能性もあります。経営はこのようなことが連続で起こり続けます。大事なこととしては、常に様々な情報に触れ続け、仮説設計の上、その時点で最善と考えられる選択肢を選び続けること。そしてアクション実行後は仮説検証を経て、また選択肢を考える、といった具合ですね。

そしてやはり組織なので、ヒトに関する戦略・戦術も適切に立案し実行できる能力も非常に重要です。組織はヒトで動いているので、個々人の能力や状況、雰囲気等も鑑みて配置し、チームとしてパフォーマンスを発揮できるように組み立てる必要があります。これは人心という数値には表せない領域もあり、私も大変苦労しました。

藤岡：CEOやCFOの相談相手になるのもコンサルの役割だと思うけど、そこで求められる資質は?

梅津：やっぱり当事者意識じゃないですかね。コンサルはどこまで行ってもクライアント内部にはなれないんですけど、内部の方以上に自分で考えて関わっていくことが大事だと思います。その分、自身に負担はかかるかもしれませんけど、一歩踏み込んでやるのは大事ですね。当時はCFOからの信頼を得ることはもちろんのこと、社長・CEOといった意思決定権者と直接コミュニケーションを取れるポジションも意識して案件に臨んでいました。あとは、コンサルに限らずですが、案件においてはスタートダッシュを大切にしていて、最初に良い印象を持ってもらうことで、スムーズに案件を進めていくようになります。意識していました。

藤岡：懷に飛び込むことやスタートダッシュは独立でもとても大事ですね。まずは経営者に信用してもらうことが一番なので。信用してもらうにも色々な要素があって、単に知識や経験だけでなく、人として気に入られるというようなソフトスキルも必要だと思います。信用を得られるようになれば、経営者は横



パートナー
鯛 剛和

理事 パートナー
藤岡 大祐

パートナー
梅津 一哲

のつながりも強いので、目の前の仕事から別の仕事に繋がるという好循環が生まれてくる。

鯛：社外役員になる会社をみると何を意識していますか?

藤岡：事業内容はもちろんですが、経営者がどういった方なのかをよく見ています。長期目標で事業に取り組んでいて、事業を大きくしていくことを常に考えているような方と同じ船に乗って議論等するのは面白いですね。他には人を引き付ける力が強い人ですかね。そういう人たちに声をかけられたら断らないようにして、それが結果、上場につながっているという感じです。

梅津：藤岡さんの思う、人を引き付ける力が強い人はどんな人ですか?

藤岡：天才肌とかカリスマ性とか、色々な表現の仕方があると思いますけれども、この人と一緒に仕事をするのは面白そう、楽しそうって思わせる人じゃないでしょうか。理事長の鈴木さんもそういうタイプかもしれない笑。

Q. ファーストキャリアをESネクストにするメリットは
どんなところにあると思いますか?

梅津：IPOコンサルスキルの吸収・定着との親和性でいうと、ESネクストの監査環境はうってつけだと思います。コンサルは、課題に対して適切なソリューションを提供して、その改善を図っていく仕事なので、まさに改善課題溢れる状態のIPO準備企業を相手に、監査を通じて指導的機能を多分に発揮できるIPO監査は、コンサル力を高める経験機会にとても恵まれていると感じます。上場会社は、IPO時に厳しい審査を通しており、一通りの内部管理体制が整っている状態なので、上場会社

監査では、何もできていなかった状態からどのように会社の内部管理体制が整えられていったかの過程を直接見ることはできない一方で、IPO監査ではこの過程を臨場感持って味わえる点も親和性を感じる理由のひとつです。

藤岡：独立という観点でもESネクストで働くことは同じメリットがあると思います。独立した直後で、大企業から直接仕事を受けることは非常に稀で、基本はリソースやケイパビリティが足りていない中小・スタートアップから依頼を受けることがほとんどだと思います。ESネクストはそういったクライアントがほとんどなので、そうした会社をたくさん見ておくことで、経験も積めるし、人的ネットワークができると思います。特に最近思うのは、ESネクストメンバーの繋がりは将来独立等を考えた場合に非常に大きな財産になり得るということ。スタートアップやIPO監査に興味がある人がこの法人に集まっているので、その輪に入っておくことは間違いない将来の可能性を広げることにつながると確信しています。

鯛：ESネクストは監査法人なので、監査の知識・経験が身に付くことは当然ですが、早期に経営というものに触れるのが最大のメリットだと考えています。具体的には、まず法人内に様々なバックグラウンドのパートナーが在籍しており、私も含めて事業会社出身の方々が複数います。事務所内は風通し良好、気軽に経営や事業の話をすることができます。また、ESネクストのクライアントは最新のビジネスを取り扱っているケースが多く、かつ若い年次から経営層と会話ができる機会も豊富にあります。こういった機会に触れれば触れるほど、自身の経営に対する軸が自然に醸成されますし、藤岡さんも仰っているように人的ネットワークも構築されていきますので、将来いざ職業を事業会社にシフトする際に必ず役立ちます。CFOキャリアの私の意見としては、この環境に早く飛び込んだ方が有益であることは間違いないですね。

Interview

【パートナー対談②】

多様なキャリアとIPO監査

～IPO監査における家庭と仕事の両立、監査品質について～

Q. 監査業界は忙しいイメージがありますが、お二人はキャリアと子育てをどのように両立されてきましたか？

志村：会計士の仕事は、お客様の話を聞くところから始まる仕事だと思っていますが、家族や職場のチームでも話をすることが重要だと思っています。子育てをしていると、急な体調変化などで想定通りに動けない時があったりします。そんな時には、なるべく早く家族にお願いするとか、どうしても仕事を代わってもらわないといけない場合にはスムーズに引き継げるようにしておくなど、バックアップを持つことを意識しています。家族や職場の方々のそのような協力があったからこそ、子育ても仕事も頑張ってこられたと思っています。

真鍋：私も同感です。家族や職場の方の協力あってこそだと感じますね。

Q. 子育てをする上で、ESネクストの環境についてはどうお考えでしょうか？

志村：ESネクストのパートナーは子育て世代の人たちが多いので、子どもの発熱とか突発的なことも含めて共感してもらえるし、ヘルプを出しやすいですね。孤独に頑張らなくても良いんだなとすごく感じます。

真鍋：そうですね。仕事はいいから早く帰れと言われるくらいです(笑)。あとESネクストはIPO監査メインの法人で、決算期があまり重ならず繁忙期という概念があまりなく、大手で働いていた時より平準化されているイメージですね。

志村：どこかの月で業務過多になることがなく、常に同じようなスケジュール感で働いているのはIPO監査に特化したESネクストの良さかもしれませんね。ただESネクストもまだ設立4

年目の法人で、今以上に働きやすい環境をこれからつくっていくと思うので、職員の声をもっと取り入れていきたいと思っています。

Q. お二人は、IPO監査における品質管理について、どのように考えていますか？

真鍋：ESネクストのビジョンは、「企業成長を支えるインフラとして次世代の経営者をサポートし社会のイノベーションをLeadする」ですが、それらを実現するためには、品質管理が必要不可欠だと思います。監査法人は、例え営業が上手くても、それだけだと長期的には企業が離れていくてしまうため、社会的な信頼を得ることが最も重要なと思います。高品質な監査を提供する監査法人として信頼を得ることで、ビジョンを実現していくと思っています。

志村：仰る通りですね。IPOを目指すうえで、クライアントが内部統制を構築していくことになりますが、わたしたち自身もク



ライアントをLeadできる存在である必要があると思っています。クライアントをLeadできるよう、高い品質の監査を提供することが大事だと思っています。

Q. お二人が品質管理という面で意識していることは何ですか？

真鍋：そもそも、「監査品質」には、はっきりとした定義はありませんが、意識していることは、先ほども言った通り「社会から信頼される監査法人となること」だと思っています。社会から求められる監査品質の水準はより一層上昇しており、その要求に応えていかないと社会からの信頼を勝ち取ることができないと思っています。そのため、前年度踏襲の監査に甘んじるのではなく、今社会から求められていることにアンテナを張って監査を行うことが重要です。ESネクストにこれから入ってくる若いメンバーも含め、社会から求められていることをしっかり発信していきたいと思っています。



Q. ファーストキャリアとしてIPO監査というキャリアを選ぶメリットはありますか？

真鍋：大企業を監査するチームに入ると、最初の数年、同じことしかできないこともありますが、IPO監査では、会計士として本当にいろんなことに関与できる点が魅力ですね。

志村：またIPO監査には、「上場するまでに変えていく」という前提があるので、高い目標に向かって会社と一緒に同じ方向を向いてやっていけることは、クライアントから前向きなエネルギーを貰えますし、勉強にもなりますね。

真鍋：受験生にはあまりイメージがないかもしれません、会計士は会計や監査のみならず、内部統制のプロフェッショナルでもあります。内部統制のスキルは、既に完成された内部統制をなぞるより、設立数期目の会社と議論しながら、内部統制を作っていく方が、より深く身につけられると思います。当然完成系のイメージは出来た方がいいですが、それは文献等に当たることで補うことができます。もう1つ、会計士として身につけておきたいスキルは、視野を広く持て、事実を客観的に捉える能力です。これも、会社が既に分析した結果をみて理解するのと、IPOを目指す若い会社と伴走しながら会社が置かれている様々な状況や会社自身のことを理解していくことができるのではないかと思います。

志村：そうですね。会計士のキャリアは多様ですが、IPO監査では、会社の仕組みを整えるところに携われるところが魅力ですね。また、IPO監査では、最先端のビジネスモデルをもつ幅広い分野のクライアントに関与することができますが、クライアントを理解するうえで、世の中のことを知るチャンスが多くあると思います。わたし自身もESネクストに来て、以前より早く成長できているのではないかと思います！

Interview

IPO達成クライアントの監査メンバーが語る、現場の舞台裏

Q. IPO監査で大変だったこと・印象に残ったことは何ですか?

水町さん:やっぱり「開示」が大変でしたね。私は特に有価証券届出書を重点的にチェックしていましたが、初めての業務だったので苦労しました。ですが、インターネットで自分が確認した届出書を見た時は、「ああ、この項目はたくさん議論したな」と感慨深くなりました。

村井さん:私も申請期の開示チェックが大変だったことを覚えています。J1からパートナーまで、監査チームメンバー全員で集まり、2週間で300件を超える質問や修正依頼のやりとりを行いましたが、当時は本当に一心不乱でした。クライアントも真剣で、後戻りできないという緊張感がありました。開示チェックを終えた後に、先方のCFOから「ここまでやっていただけると思わなかっただけ」と言っていただいた経験はとても印象に残っています。

清水さん:クライアントも相当大変なんですよね。お願いした資料がなかなか返ってこないこともありますが、私がそう思う時、クライアントの方も必死に対応して下さっています。先方は監査対応だけでなく、証券対応やIR準備にも追われているので、私達から見えにくい部分で大きな負担がかかっているんです。だからこそ、私たちの方が余裕あるのだということを自覚して、支えなければと思っていました。上場承認1週間前は毎日缶詰で会議でしたが、文化祭準備みたいでしたね(笑)。開示書類が出た際は、私も水町さんと同じで、書類を見ながら充実した気持ちになりましたね。クライアントからも感謝の言葉をいただき、この法人に入ってよかったですと改めて感じました。

城山さん:文化祭準備のイメージは伝わりやすいかもしれませんね(笑)

開示チェックも大変ですが、内部統制を一から構築していくことも、この仕事の醍醐味ですよね。IPO監査において、監査人は、上場企業水準の内部統制をクライアントが構築していくため、あるべき内部統制について上場準備期間を通じてお伝えしていくことが求められます。理想的なものを構築するため、監



IPO監査のリアル

苦労・成長・やりがいとは?

監査人としても“正確な知識”が要求されます。事業内容、使われるシステム、人員規模など、各会社に様々な事情があり、その会社に合わせた内部統制のかたちを見つけることは大変ですが、だからこそ実力がつきますし、そういう地道なやり取りが良い思い出ですね。

Q. IPOクライアントに関わって成長した点はありますか?

城山さん:IPO監査では、クライアントも初めて経験することばかりなので、手探りで進めることが多いです。その中で、自分の発言が、会社が作成する資料の根幹を決めることもあります。より重い責任が伴う中で、会社にとって必要なことは何かを考え、学び、主体性を持って取り組むことで多くの学びがありました。

村井さん:仕事に対する責任感という観点は、私も成長できた部分であると考えています。上場申請時の開示資料は、膨大なページ数から構成され、そのすべてをパートナーが同じ粒度で細部まで確認できるものではないと思います。そのため、自身の担当ページで小さなミスを見落とした場合、そのまま世の中へ開示されてしまう可能性もあります。クライアントも初めての開示資料作成でミスが生じやすい中、そのような緊張感を味わうことができ、良い経験となりました。

清水さん:IPO監査では収益認識を始めとしてクライアントとあるべき会計方針を討議する機会が多くあります。基準を深く理解する必要があり、こちらも本気で学んでいかないと対応できません。だからこそ自然と勉強し、習熟度も上がります。前期調書を参考にできる上場企業

監査と違い、クライアントの会計処理を必死に理解する必要があります。幅広い検討機会は、豊富な成長機会を意味していて、何事にも通ずると思いますが、“0から作る”ということは本当に勉強になります。

水町さん:私は証券会社のヒアリングやコンフォートレターの対応も含めて上場申請期ならではの実務を体験でき、貴重な経験となりました。教科書ベースの知識は理解していましたが、実際に体験したことでイメージをより強く持つことができ、知識が実になったと実感しました。今回の経験は今後IPOに関わっていく上で大きな財産になりました。

Q. IPO監査の魅力って何だと思いますか?

清水さん:やりがいを感じやすいところですね。クライアントからの相談が本当に多いので、感謝される場面も多くなります。また、二重責任の原則は当然ありますが、IPOに向けて会社が作成すべき資料は山ほどあり、監査人側と協議しながら作成が進んでいくものも多いので、そのような伴走に対して感謝される機会も多くあります。

村井さん:私はやはり、上場セレモニーでクライアントの笑顔を見られることですかね。監査に限らず、仕事をしている中で、お客様があんなに喜んでいる姿を見られるることはなかなか無いと思いますし、その瞬間に私も頑張ってよかったなと思いました。

城山さん:そうですね。やはり自分の仕事が誰かの役に立つというのは嬉しいことですし、それを直接実感できるところが魅力だと思いますね。良い仕事をした分だけ、仕事のパートナーとして信頼してもらえるので、もっと頑張ろうと、モチベーション高く仕事できることもIPO監査の魅力かもしれません。



パートナー
城山 智之



シニアスタッフ/4年目
清水 裕大



シニアスタッフ/3年目
村井 篤



ジュニアスタッフ/2年目
水町 和葵

Q. 就活生にメッセージをお願いします!

村井さん:IPOに関われる環境は貴重です。クライアントも監査チームも熱量高い方が集まる業界だと思いますので、意欲がある人、挑戦したい人にはぜひ飛び込んでほしいです。

清水さん:成長したい人、やりがいを感じたい人には向いています。私自身、上場申請期の会社に関わらせてくださいと面談で伝えたことで、チームに入れた経験もあり、頑張る人をしっかりと応援してくれる環境です。そのような人はレバーレッジを利かせた成長ができると思っています。

水町さん:2年目でも任せもらえる仕事が多いので、責任感を持って取り組める環境です。熱意のあるクライアントと一緒に歩んでいきたいという人は是非来てほしいです。

城山さん:ESネクストは、監査以外の経験をもつパートナーもたくさんいます。興味をもった分野について、いつでも聞けるというのは、本当に貴重な環境だと思います。主体的に動ける人なら、絶対に成長できます。皆さんと一緒に働くことを楽しみしております!



One Day of ES Next

ESネクストの1日に密着!



TimeSchedule

9:25 出勤

9:30 業務開始

11:30 ランチ休憩

12:30 業務再開

15:00 社内MTG

18:30 退勤

19:00 部活動

まずはMさんです!

彼は普段から明るく、3期生の癒しキャラです。
休憩時間には、オフィスで楽しそうに雑談している姿を
よく見かけます。
そんなMさんの一日に密着してみました!



TimeSchedule

9:20 出勤

9:30 業務開始

10:00 社内MTG

12:30 ランチ休憩

13:30 移動

14:00 往査

17:30 往査終了

18:00 懇親会



続いてSさんです!

彼女は2期生の中で一番のしっかり者。
法人内での信頼も厚く、本当に頼りになる存在です!
そんなSさんはどんな一日を過ごしているのか見てみましょう!

【ESネクスト 4期生 インタビュー】

—— Hayate Takehana ——

Q 竹花さんの就活の軸を教えてください。

自分と同様の価値観や上昇志向を持つ同期や上司がいる環境を重視しました。専門性を生かして自分の価値を高めていきたいという気持ちから、会計士を目指したこともあり、一緒に成長できる場所で働きたいという思いがありました。

Q ESネクストへ入所を決めた理由を教えてください。

IPO監査へ関与したいという思いが強くありましたからです。クライアントが小～中規模であるからこそ、少人数で監査業務に携わることができる環境は自らの成長につながると思いました。

Q やはり他の法人と悩みましたか？

悩む、というよりも就活をじっくり進めていました。他法人のリクルートイベントにも参加しましたが、今までにないビジネスモデルを立ち上げ、高い熱意を持つ経営者の方との仕事に携わることは貴重な経験になると同時に、突き抜けたスキルを身に付けられると思い、ESネクストを選びました。

01

竹花 風
2024年度合格者
ジュニアスタッフ



—— Nana Kashiwagi ——

Q 柏木さんがESネクストに入所を決めた理由を教えてください。

ESネクストに入所を決めた理由は
●IPO監査を中心に関与したいという思いがあったから
●元々スタートアップ企業の支援をする仕事に興味があったから
●自分が働いている姿が想像できたから
という3点です。

Q IPO特化型監査法人への就職に不安はありませんでしたか？

不安はありませんでした。
会計士という資格があれば、多様なキャリアを選択することができると思いますし、「スタートアップ企業の支援をする」という自分の思いを形にできる法人だと思いました。

Q 仕事をしていて、成長を感じた瞬間、楽しさを感じた瞬間はありますか？

入所して数か月ですが、日々考えながら業務を進めているときに成長を感じています。難しい論点について、自分で考えて結論を出すことができたときや、経営者ディスカッションへ参加して様々な業界の話を伺うことができたときは、とても勉強になり楽しいです。

02

柏木 奈々
2024年度合格者
ジュニアスタッフ



—— Koki Misawa ——

Q 三澤さんが就活をする上で重視した点を教えてください。

法人の雰囲気、成長スピード、直感的に面白そうかという点を重視して就活をしていました。理屈面だけでなく、感覚的な面も大切にしていました。

Q その中で、なぜ ES ネクストへの入所を決めたのでしょうか。

やはり直感的な部分が大きかったです。
元々、事業会社への就職も視野に入れしていましたが、会計士として監査への知見を深めることは重要だと思い、監査法人を探しました。
ESネクストの新しいことを取り入れる文化やパートナーとの距離の近さが興味深く、入所を決めました。

Q 同期として入所した4期生の雰囲気はどう思いますか？

ESネクストを選んで入社しているだけあって、とても濃い人が多いですが、みんな協調性があり接しやすいです。年齢が離れている人もいますが、同期として接してくれるのは嬉しいです。

03

三澤 公暉
2024年度合格者
ジュニアスタッフ



—— Tatsuya Miyake ——

Q 三宅さんがESネクストへ入所を決めた理由を教えてください。

就活時、リクルーターの方に”One of Themよりonly oneにならないか”という言葉をかけられ、入所への気持ちが固まりました。
友人や先輩が大手監査法人を選ぶという環境で、自分でもそれが当たり前だと思っていたが、個別面談を通じて徐々に心が変わりました。

Q “IPO特化型の監査法人”について、不安はありましたか？

不安はありませんでした。
比較的安定した職業であるならば、法人の大小に限らず突出した専門性を身に付けられる場所に身を置きたいと思いました。

Q 現在は大学在学中だと思いますが、非常勤としてどのように働いていますか？

普段は週2回ほど非常勤として勤務しており、他の日には、大学の授業や予備校のチーフアシスタント業務を行っています。

04

三宅 達也
2024年度合格者
ジュニアスタッフ



— Honoka Oe —

Q 大江さんがESネクストに入所を決めた理由を教えてください。

初めてESのイベントに参加した際に、直感的に惹かれました。
他法人の情報収集もしましたが、最後まで気持ちが揺らがなかったため、ESネクストに入所を決めました。

Q 実際に入所して、仕事においてやりがいを感じた瞬間はありますか？

監査が一区切りするタイミングである監査報告会を終えた後は達成感があります。
他にも、クライアントの事業が実際に社会の役に立っている場面に直面したときは嬉しく思います。

Q 今後のキャリアについて検討していることはありますか？

ESネクストのパートナーになりたいと考えています。
就活時は会社の経理やCFOに興味を持っていましたが、ESネクストに入ってからは、パートナーの働く姿を見て憧れを抱きました。ESネクストでは、10年でパートナーになるチャンスがあるので、20代パートナーを目指して日々精進してまいります。

05

大江 萌乃菜
2023年度合格者

ジュニアスタッフ

— Yuya Takatsuki —

Q 高槻さんがESネクストに入所を決めた理由を教えてください。

自らがより成長できる場だと考えたからです。
ファーストキャリアにおける経験が重要であると考えていたため、監査チームのメンバーが少なく、J1から多様な科目的監査に関与することができるESネクストに魅力を感じました。

Q IPO特化型監査法人への就職に不安はありませんでしたか。

不安は特にありませんでした。
ESネクストでも上場企業の監査に関与することは可能ですし、IPO監査に強みを持ち、キャリア選択の幅を広げていきたいと思ったからです。

Q 高槻さんは今年J2になりましたが、J1のころと変化したことはありますか。

大きな変化は、調書の作成過程において検討余地の多い科目調書を任せもらえることが増えたことです。難しいですが、だからこそそのやりがいを感じています。

06

高槻 佑弥
2023年度合格者

ジュニアスタッフ

— Yua Kojima —

Q ESネクストに入所を決めた理由を教えてください。

決め手は、
●IPO監査がやりたかった
●法人の雰囲気が自分に合っていると感じた
●急成長する監査法人を一番近いところで見てみたかった
という3点です。

Q やはり上場監査とIPO監査で身につく能力は異なるのでしょうか。

IPO監査は指導的機能の発揮がとても重要なので、よりクライアントに寄り添う力やコミュニケーション能力が身につくと思います。
上場監査では、IPO監査よりもスケジュールがタイトになるため、その管理能力がより求められるかと思います。

Q 2年ほど勤務されている中で、やりがいを感じた瞬間を教えてください。

担当クライアントの上場セレモニーを間近で見るという貴重な体験ができた際、やりがいを感じました。
期末監査と上場時期が重なるなど忙しい時期もありましたが、監査チームの雰囲気もよく、繁忙期を乗り越えることができました。

07

小島由愛
2022年度合格者

シニアスタッフ

— Syuya Ajisaka —

Q ESネクストに入所を決めた理由を教えてください。

IPO監査のみに関与したいという思いが強かったからです。
元々、スタートアップ企業を会計士として支援していくたいと考えていたため、スタートアップ企業を中心とした新規の案件が多く、IPOを中心として監査を行うことができるESネクストを選びました。

Q 主査業務とスタッフ業務でどのような違いを感じますか。

主査をさせていただいてから、クライアントの第一窓口としてコミュニケーションをする以上、監査全体の把握が必要となりました。
現場の責任者でもあるので、より責任感も感じるようになりました。

Q ESに入所してから3年経ち、仕事でやりがいを感じた瞬間を教えてください。

クライアントに感謝されたときは、やりがいを感じます。
適切にクライアントの支援をしていく中で、上場へ近づいていく過程を見る能够性をもつてやりがいにつながっています。

08

鰯坂 格哉
2021年度合格者

シニアスタッフ

Q 将来自目指すキャリアは?



CFO



独立・起業



パートナー



4期生 アンケート

2025年2月に入所した
4期生が答えました!



Q みんなの出身地を
教えて!

札幌

秋田

大阪

東京

沖縄

愛媛

Q 最終的にESを選んだ理由は?

今後のキャリアをイメージ出来たから!

直感的に良い法人だと
思ったから!

関東、関西圏だけでなく、北
海道、沖縄、広島など全国
各地の出身者が
います!

各地のお土産を
もらったり、お
すすめの観光地
や美味しいグル
メを教えてもら
えたりします!



Q 論文式試験後に最初にしたことは?



論文の2週間後に、4年生チームで
最後の大会に出場しました。
怪我して引退しました。。。
#サッカー #引退試合 #体動かん



論文後は大阪に旅行に行きました!
写真は大阪のとあるカフェで
食べたサーモンレアカツです!
おしゃれ&美味しいすぎました 😊
#論文後 #大阪 #カフェ #おしゃれ #美味しい



大好きな台湾に行きました!
九份から見える夕焼けと海は世界
一好きな景色です! 🌈
#論文後 #台湾 #九份 #快晴☀️

Q みんなの住んでいる場所は?

住んでいる地域の
家賃相場
職場までの時間



新人研修

ESネクストの新人研修は3週間すべて対面で実施されます。研修内容は監査実務・会計実務・IPOの基礎・ExcelなどのPCスキル・ビジネスマナーなど多岐にわたります。

対面での研修は講師に質問がしやすい、同期とのディスカッションの機会が多く仲が深まりやすいなど新人にとても好評です!研修の目玉は「クライアント説明」です。この研修では自分が関与するクライアントについて担当パートナーから直接説明を受け、それとともにそのクライアントのビジネスモデルや監査上のポイントについて1人1人プレゼンを実施します。ESネクストでは新人のうちから経営者ディスカッションや会社とのミーティングなど人前で話す機会が多いので、この研修は良い訓練になります!



全体研修

年に数回、外部会場を借りて全体研修を実施しています。監査実務研修はもちろん、法人の現況・今後の展望の話や社外ガバナンス委員の話を聞く時間もあり、1日を通して様々な知識が得られます。

研修後には懇親会があり、異なる職階やチームの職員とも懇親を深められます!それ以外にも月に数回オフィスで研修があり、最新トピックについても早い段階でキャッチアップできる環境が整っています。



宿泊研修

ESネクストでは年に1回全職員が参加する宿泊研修があります。昨年は那須塩原で開催しました。(昨年は台風のため中止に…涙)

1日目は全体研修と懇親会が行われ、2日目はアクティビティを通して懇親を深めます。ゴルフ・ラフティング・カーリング・謎解きなど、その年によって変わるアクティビティは毎年大好評です!



1日目

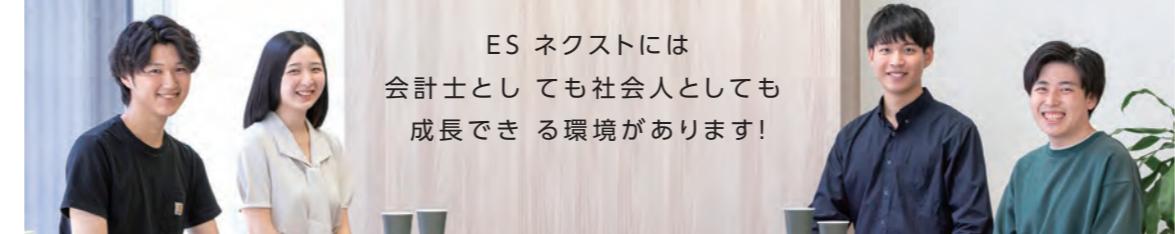


2日目

年間のイベントの中でも特に職員の思い出に残る一大イベントなので、楽しみにしていてください!

成長できる環境

ESネクストには会計士としても社会人としても成長できる環境があります!



日々のOJT

わからないことがあったときに気軽に質問できる先輩が近くにいる環境は早期成長につながります!



ESネクストではスタッフは原則出社と定められており、オフィスでは先輩の近くで教えてもらいながら仕事を進めます。

1人1人の顔と名前が一致するくらいの規模感だからこそパートナーもスタッフに気を配ってくださり、直接相談できる機会も多いです。

部活動紹介

Club activities

ゴルフ部

ESネクストでは若手職員にもゴルフをする人が多く、社内コンペはとても盛り上がります!社会人になってからでも始めやすいスポーツなので一緒に楽しみましょう!



テニス部

月に1回程度コートを借りて練習や試合を楽しんでいます。部内に貸し出し用のラケットもあるので初心者の入部も大歓迎です!



野球部

月に1回程度バッティングセンター やグラウンドで練習しています。対外試合を目指して部員を募集中です!



バスケットボール部

新たにバスケ部が発足しました!身体を動かしてリフレッシュしたい方にピッタリの部活動です。初心者大歓迎ですので、ぜひ一緒にプレーしましょう!



フットサル部

月に1回程度オフィス近辺のコートで練習しています。有志で外部の大会にも参加するなど積極的に活動している部活です!



テーブルゲーム部

月に1回程度ダーツやビリヤードを楽しむ部活です。先輩がルールを教えてくれるので、初めてプレイする人でも楽しめます!



部員を集めて新しい部活を作ることもできます!



多くの職員の仕事終わりの楽しみとなっている
ESネクストの部活動を紹介します!

NewESとは?

次世代を担う(女性)職員がやりがいをもって働ける組織づくりを目指して2023年に発足した組織です。月に1度のランチミーティングを中心に活動し、仕事とライフィベントやプライベートとを両立するための仕組みづくりやより良い職場環境の構築などについて考えています。



NewES

～Next generation [of Women] Enjoy with ES Next～



毎月の活動

月に1回ランチミーティングを実施しています。テーマについてディスカッションをしながら懇親を深めることができます。ミーティングしながら食べるお弁当にも毎月こだわっています!



講演会

年に数回講演会を主催しています。これまでには育児と仕事を両立するパートナーの働き方についての講演会や外部経営者を呼んでの講演会、産業医による健康に関する講演会を実施しました。

活動実績

育児との
両立支援制度の考案

リクルート用ノベルティの
考案・作成

講演会の主催

法人ホームページに
対談記事掲載

女性向けリクルートイベントの
企画・実施



自らの意見が
法人の制度などに
反映されることも
多く、とてもやり
がいがあります!